

広島和牛NEWS

見んさい! 食べんさい! 飲めんさい!
カンパイ! 広島県
(^▽^)/

(^▽^)/ 広島和牛最高の無料情報誌を目指します!!

No9 平成28年5月20日発行

デザイン、内容は、今後の紙面充実のため、変更する場合があります。

➤ 日本一への道すじ ～ 第11回全国和牛能力共進会の取組み ～

今年度に入り、第11回全国和牛能力共進会（全共）の出品に向けた活動が活発になってきました。平成28年5月2日（月）に全農ひろしま三次繁殖実験牧場において、全農ひろしま、広島県立畜産技術センター、広島県畜産課職員らにより、全共第1区（若雄の部）の候補牛選定調査が行われました。

今回行われた選定調査は、「烏帽子」を利用した広島系統再構築の取組みの一環で、平成27年12月に誕生した6頭の雄子牛の発育調査、体型調査等が行われました。選定調査の結果、4頭を保留し、雄牛として育成委託等行われる予定となっています。平成29年9月の宮城県で行われる全共の最終選抜までに、調教、選抜等が行われ、広島系統を代表する1頭の種雄牛に絞り込まれることとなっています。

今回、最も上位に位置付けられた雄子牛（右写真）は、発育は平均並みであるものの、体のバランス（均称）に優れ、種牛性（雄らしさ）に富み期待が持てると評価されています。



「烏帽子」の雄産子の選定調査のようす

【上位牛の選定結果】

生年月日	血統（父 母の父 母の祖父）	体高	発育ラツク
H27年12月16日	烏帽子 百合茂 安福久	101cm	A
H27年12月20日	烏帽子 百合茂 安福久	99cm	A-

（測定日 H28年5月2日）

今回の選定調査では、ゲノム育種価（右参照）を算出し、参考情報として活用しました。このように、世界的にも注目される最新のテクノロジーを有効に活用しながら、日本一を目指した取組が行われています。

～ゲノム育種価とは～

遺伝子の配列から推定した遺伝的能力のことで、乳牛では既に育種改良に活用されています。和牛では、本格導入に向け、精度を向上させる研究が進んでいます。ゲノム育種価が導入されれば、多くの和牛の遺伝的能力が推定され、改良が加速すると考えられています。

➤ 銀座で「肉の日」フェア ～ 広島和牛のプロモーション本格稼働中! ～

広島ブランドショップ「TAU」（たう）（東京都中央区銀座）は、平成28年4月29日（金祝日）に、「TAU肉の日」を、イタリアンレストラン「Paccio（ぱっちょ）」とお好み焼き屋「三匠（さんしょう）」で行いました。

この「TAU肉の日」は、広島の和牛ステーキを格安で提供し、東京のお客様に広島のおいしい和牛の存在を知っていただき、観光やビジネスで広島を訪れる時には、広島の和牛を愉しんでいただくことをめざし、はじめられた取組です。

当日は、両店で赤字覚悟の1,000円で、広島県産和牛ステーキが提供されました。

あらかじめ、ホームページ等で告知すると、「予約ができるのか？」など事前に問合せがあり、当日は、「また肉の日をやってほしい、次は予約したい」など大変満足していただいたようです。

今後も、毎月29日に「TAU肉の日」を開催し、イベントを定番化し、より多くのお客様の実体験を通じ、広島和牛ブランドの認知と価値を高め、「広島には、おいしい和牛がある」「広島に行ったら、和牛を食べて帰ろう」という行動につなげていけるよう、取組の充実が図られていく予定となっています。

毎月29日は「TAU肉の日」。4月の肉(29)の日限定メニューは『広島の和牛ステーキ』1,000円(税込)!!

毎月29日は
「TAU肉の日」

「TAU肉の日」では、その歴史と伝統に支えられながら品質に磨きかけた味わいのある広島の和牛を毎月リーズナブルに提供しますので、是非、ご賞味ください。

4月29日限定メニュー【2階「三匠」、3階「Paccio」で提供】
赤身の最高峰 ランプを使用（A4～A5等級）
広島の和牛ステーキ（150g）
1,000円（税込）※限定20食

広島和牛は、江戸時代後期に和牛の系統として造られ、神戸ビーフとなる高品質な但馬牛とともに、「現代和牛ルーツ」の1つであり、比婆牛、神石牛などで全国に知られています。

広島ブランドショップTAUホームページ

(^o^) お知らせ～今年（2016年（平成28年））は、広島県種畜牧場誕生100年! です～

全農ひろしまの実験牧場の近況 ～ 系統の増産と後継者育成 ～

全農ひろしまは、現在、4つの直営牧場を有し、その運営を通じて広島血統の和牛づくりや後継者育成に取り組まれています。5月にそのうち3つの牧場を訪問しましたので、現在の取組状況等を紹介します。

1 広島系統牛保存センター【写真右】

(神石高原町油木 繁殖牛最大 196 頭収容)

平成 28 年 4 月に油木繁殖実験牧場からこの名称に変更されました。名称のとおり、広島系統を保存し、広島血統和牛の増産の基地とするよう取組が行われています。160 頭を超える繁殖用雌牛が飼養され、受精卵の採取などを通じて、種雄牛候補や系統雌牛づくりが行われています。場長は、「この雌牛の系統分類を明確にし、広島系統雌牛の基地として機能するよう母集団づくりを進めている。今後、雌牛の供給等を通じ、県内へ広島系統を波及したい。」と今後の展望をうかがうことができました。



元広島県種畜牧場を活用した広島系統牛保存センター。この地で牛の育種改良が始まって 100 年が経過し、ここには歴史と伝統と文化があります



広島系統牛保存センターの繁殖牛は、地元の集落法人が栽培した飼料イネが給与されています。昔から和牛は水田農業と密接に連携しながら、今に至っています。

2 三次繁殖実験牧場【写真下】

(三次市上田町 繁殖牛最大 90 頭収容)



三次繁殖実験牧場では、常時 20 頭程度の子牛のほ育（ミルク給与）が行われています。ここでは、牛舎、飼料、ほ育器具などの衛生面に気を配り、健康で丈夫な牛づくりが行われています。

肥育牧場から繁殖牧場へ転換が進んでおり、平成 28 年 7 月頃に完全に繁殖牛のみの牧場になります。ここでは、広島系統牛保存センターで生まれた雌子牛をほ育・育成するとともに、子牛生産を通じて、飼育技術の確立・実証展示、広島系統牛の供給などが行われます。

3 高宮実験牧場【写真右】

(安芸高田市高宮町 肥育牛最大 884 頭収容)

肥育牛約 800 頭を飼育する県内最大の全農ひろしま直営牧場です。ここでは、肥育技術の向上のため、最新の試験研究が行われています。現在は、飼料米、飼料イネを利用した TMR 飼料の製造と給与試験、肉のおいしさなどに寄与する飼料の給与試験と県立畜産技術センターが実施する食味研究などと連携した取組みなどが活発に行われています。



高宮実験牧場では、大規模飼育の効率的な飼養管理が追求されています。配合飼料の自動給餌機、牧草はフォークリフトで給与（写真上）、ほ育はほ乳ロボットが 1 頭毎に適切な量を調整して自動ほ乳するなど、最新技術がギッシリ詰まっています。



飼料用米を利用した発酵飼料。収穫した生粃米を乾燥させず、粉碎処理し密封保存し乳酸発酵させます。

今回は、訪問していませんが、全農ひろしまの4つ目の牧場は、神石実験牧場（神石高原町福永 肥育牛最大 324 頭収容）で、高宮実験牧場と同様肥育牛を飼養し、雌牛の肥育牧場として様々な取組を行いつつ、「神石牛」肉ブランドの供給基地として活躍しています。

それぞれの牧場では、これらの取組みに加え、農業技術大学の卒業生や和牛農家の後継者が実践研修として牧場運営に従事されており、将来の担い手として人材育成が積極的に行われています。昨年は、広島系統牛保存センターで従事している方が繁殖 30 頭牛舎を建設し、和牛経営者としてスタートしています。

また、常に革新的な取組の試行錯誤を通じ、従来の技術などにとらわれない和牛経営の発展の方向が実践的に示されています。

【広島和牛お出かけ情報】

◆比婆山山開き◆

新緑の比婆山で比婆牛バーベキューを堪能しませんか！？

とき 平成 28 年 5 月 29 日（日） 11:00～

ところ 竜王山駐車場（庄原市西城町）

問合せ 西城町観光協会 TEL0824-82-2727

【食肉販売動向（平成 28 年度上半期（独）農畜産業振興機構）】

平成 28 年 5 月に発表されたこの調査では、記録的な高値が続く国産牛肉の取扱量が減少し、輸入牛肉や豚肉にシフトする結果となっています。

また、消費者の低下価格志向などを受け、和牛の 4・5 等級の取扱量を減らす一方、付加価値の高い商品を求める消費者に対応するため品揃えの拡充などの動きがみられるようです。

お知らせ（^o^）広島和牛 NEWS は、Web で閲覧可能です⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

次回は、7 月 1 日発行予定！